感染症発生動向調查 2020年第12週 (3月16日~3月22日)

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が1例(40歳代男性)ありました。症状はありません。感染地域, 感染経路はともに 不明です。本年初めての報告です。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

- ○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
 - http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(60歳代男性)(第11週追加報告分)あり,症状は発熱,菌血症です。感染地域は国内で,感染経路は齲歯・口腔内です。本年の累積報告数は12例となりました。
- 梅毒の報告が2例(30歳代男性,及び女性各1例)あり,本年の累積報告数は16例となりました。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数が1.06(73例)となり、終息に向かっています。しかしながら新型コロナウイルス 感染症をはじめ、多くの感染症予防のために、継続して手洗いとうがいを励行しましょう。

京都市では、インフルエンザや手洗いの方法のリーフレットやポスターを発行しています。リーフレットについては下記ホームページを御覧ください。

- ○「手洗いの方法」リーフレットは、「こどもに多い感染症について」のページ内にリンクがあります(衛生環境研究所) http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000197526.html
- ○こどもの感染症(令和2年4月号)「てをあらおう! ーすごろくしながら, ただしいてあらいをまなぼう!ー」 (衛生環境研究所)

https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

世界保健機構(WHO)は、2020年3月11日に、世界で感染が拡がりつつある新型コロナウイルス感染症について、「パンデミック(世界的な大流行)とみなせる」と表明しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ·三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- · 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 12例】
- · 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 16例】

定点把握の主な感染症

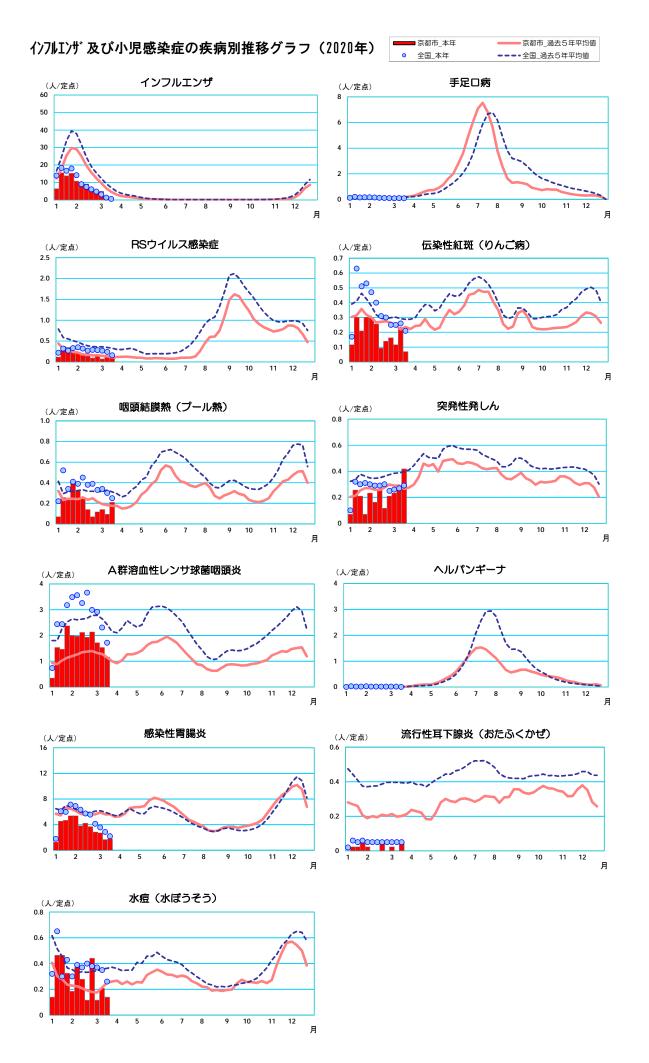
(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

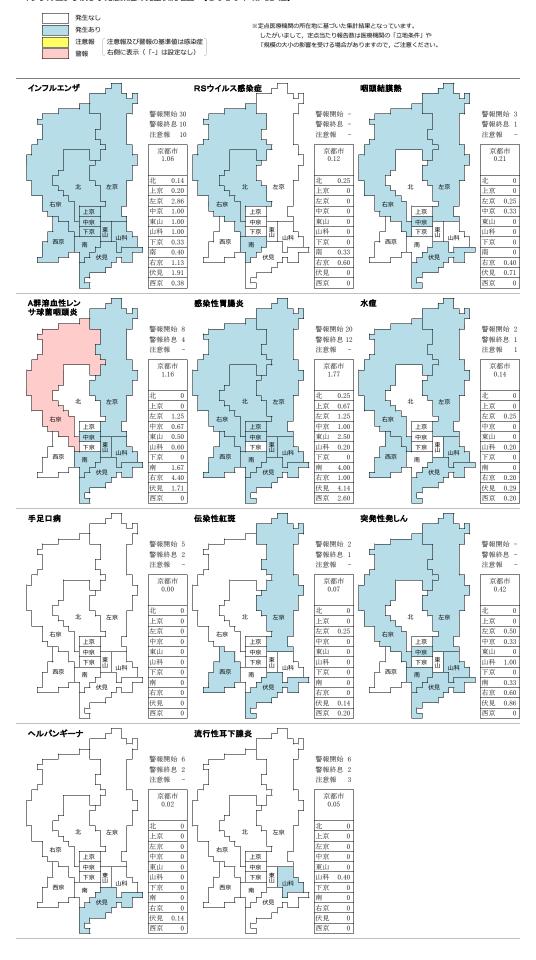
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンサ゛	インフルエンザ	1. 06	73
小児科	① 感染性胃腸炎	1. 77	76
(降順5位まで)	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 16	50
	③ 突発性発しん	0. 42	18
	④ 咽頭結膜熱	0. 21	9
	⑤ 水痘	0. 14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

⁽注)京都市のデータは、2020年3月25日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。 また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。





第12週(3月16日~3月22日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

世界保健機構(WHO)は、2020年3月11日に、世界で感染が拡がりつつある新型コロナウイルス感染症について、「パンデミック(世界的な大流行)とみなせる」と表明しました。これまで限られた知見しか得られていないものの、多くの発症者が軽症で済む一方で、高齢者や基礎疾患がある人は重篤になる可能性が高いことがわかっています。

また, 無症状又は症状が軽い方が, 本人は気づかずに感染を広めている可能性も示唆されています。このため, 感染拡大防止のため, 日常生活において, 下記のような基本的な感染症対策に努めてください。

- ○手洗いが重要です。外出先から帰宅時や調理の前後, 食事の前などにこまめに石けんと流水で手を 洗いましょう。
- 新型コロナウイルスに限らず、病原体は主に口・鼻・目から体に入ります。 外出後や咳の後は特に、口・鼻・目に触る前に手洗いを徹底しましょう。
- 咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆うなど, 咳エチケットを守りましょう。 急に咳が出てしまう時は, しぶきが飛ばないように服の袖や肘を使いましょう。
- ○発熱等の風邪の症状がみられる間は、学校や会社を休み、外出を控えて静養してください。 発熱等の風邪症状がみられたら、お近くの医療機関に相談、受診をしてください。 その際には、毎日の症状や体温測定の記録を見せてください。
- ○集団発生の共通点は、
 - ・換気が悪く
- ・人が密に集まって過ごすような空間
- ・不特定多数の人が接触するおそれが高い場所です。

換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。 特に高齢の方や持病がある方は、より一層注意してください。

京都市では下記センター及び専用電話相談窓口を開設しています。

- ●帰国者・接触者相談センター
- ●新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口
 - 1. 専用電話番号: 075-222-3421 (電話番号は共通です)

2. 受 付 時 間: 土・日・祝日を含む 2 4 時間

- <相談の目安>
 - ○風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている
 - ○強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある
 - ○高齢者や基礎疾患があり、上の状態が2日程度続いている

(令和2年3月27日現在の内容です。)

参考情報

- ○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- ○国立感染症研究所では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を提供しています。 https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov.html

T3201

集計対象:2020年第12週

疾病,行政区別報告数

2019年3月16日~2019年3月22日

データ入手日:2020年3月25日

疾病,们以区别								~2019年。								年3月25日		
男女合計	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
北	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	1	-	-	_	2	-	-	-	-	_	-	-	ı					
左京	20	-	1	5	5	1	-	1	2	_	-	-	ı					
中京	5	-	1	2	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	_
東山	3	-	-	1	5	-	-	-	-	_	-							
山科	7	-	-	3	1	1	-	ı	5	1	2	ı	l					
下京	1	-	-	-	-	-	-	ı	-	1	-							
南	2	1	-	5	12	-	-	_	1	_	-							
右京	9	3	2	22	5	1	-	_	3	_	-	1	ı					
伏見	21	-	5	12	29	2	-	1	6	1	-	ı	l					
西京	3	-	-	-	13	1	-	1	-	1	-	ı	l					
京都市計	73	5	9	50	76	6	-	3	18	1	2	-	-	-	_	-	-	-
疾病.行政区界	川定点当	たり報告	数															
疾病,行政区别	インフルエンザ	たり報 RSウイルス感染症	数咽頭結膜熱	頭炎の一般である。	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (*	感染性胃腸炎 (※4
男女合計	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	炎群溶血性レンサ球菌咽	勝炎	痘	病	染 性 紅 斑	性発しん	ルパンギーナ	行性耳下腺炎	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※	性髄膜	イコプラズマ肺	ア 肺	腸炎(※
男女合計北	インフルエンザ (**1)	R S ウイルス 感染症 0.25	咽頭結膜熱	探 探 探 探 本 本 本 本 本 本	腸 炎 0.25	痘	口病	染性紅斑	性 発 しん -	ルパンギーナ	行性耳下腺炎	血性結膜炎	行性角結膜炎 -	性髄膜炎 (※2	性髄膜	イコプラズマ肺	ア肺炎 (※3	腸炎(※
男女合計北上京	インフルエンザ (** 1) 0.14 0.20	R S ウイルス感染症 0.25	咽頭結膜熱	探 探 探 探	腸 炎 0.25 0.67	痘	口病	染性紅斑	性 発 し ん - -	ルパンギーナ	行性耳下腺炎	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2	性髄膜	イコプラズマ肺	ア肺炎 (※3	腸炎(※
	インフルエンザ (** 1) 0.14 0.20 2.86	R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱 - - 0.25	炎群溶血性レンサ球菌咽 1.25	腸 炎 0.25 0.67 1.25	痘 - - 0.25	口病	染性 紅斑 - - 0.25	性 発 しん - - 0.50	ルパンギーナ	行性耳下腺炎	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2)	性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)
男女合計 北 上京 左京 中京	インフルルエンナザ (** 1) 0.14 0.20 2.86 1.00	R S ウイルス 感染症 - - -	咽頭結膜熱 - - 0.25 0.33	次 群溶血性レンサ球菌咽 - - - - - 0.67	腸炎 0.25 0.67 1.25 1.00	痘 - - 0.25	口病	染性 紅斑 - - 0.25	性発 しん - - 0.50 0.33	ルパンギーナ	行性耳下腺炎	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2	性髄膜	イコプラズマ肺	ア肺炎 (※3	腸炎(※
男女合計 北 上京 左京 中京 東山	インフルルエンンザ (** 1) 0.14 0.20 2.86 1.00 1.00	R S ウイルス 感染症 - - -	咽頭結膜熱 - - 0.25 0.33	次群溶血性レンサ球菌咽 - 1.25 0.67 0.50	腸炎 0.25 0.67 1.25 1.00 2.50	痘 - - 0.25 -	口病	染性 紅斑 - - 0.25	性発 しん - - 0.50 0.33 -	ルパンギーナ	行性耳下腺炎	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2)	性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)
男女合計 北 上京 左京 中京 東山 山科	インフルルエンンザザ (※ ** 1) 0.14 0.20 2.86 1.00 1.00	R S ウイルス感染症 0.25	- Ung	次群溶血性レンサ球菌咽 - 1.25 0.67 0.50 0.60	腸炎 0.25 0.67 1.25 1.00 2.50 0.20	痘 - - 0.25 - - 0.20	口病	染性 紅斑 - - 0.25 - -	性発しん しん - - 0.50 0.33 - 1.00	ルパンギーナ	行性耳下腺炎 - - - - 0.40	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2)	性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)
男女合計 北 上京 左京 中京 東山 山科 下京	インファルエン・ザデー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R S ウイルス感染症 0.25	- Ung 結膜熱 - Ung 表 - Ung 表 - Ung 表 - Ung - Ung 表 - Ung	次群溶血性レンサ球菌咽 - 1.25 0.50 0.60	腸炎 0.25 0.67 1.25 1.00 2.50 0.20	痘 - - 0.25 - - 0.20	口病 - - - - -	染性 紅斑 - - 0.25 - - -	性発しん - - 0.50 0.33 - 1.00	ルパンギーナ	行性耳下腺炎 - - - 0.40	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2)	性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)
男女合計 北 上京 左京 中京 東山 山科 下京	インファルル エンソザ (** 1) 0.14 0.20 2.86 1.00 1.00 0.33 0.40	R S ウイルス 感染症 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	- Ung 結膜熱 0.25 0.33	次群溶血性レンサ球菌咽 - 1.25 0.67 0.50 - 1.67	腸炎 0.25 0.67 1.25 1.00 2.50 0.20 - 4.00	痘 - - 0.25 - - 0.20 -	口病	· 上	性発しん - - 0.50 0.33 - 1.00 - 0.33	ルパンギーナ	行性耳下腺炎 - - - - 0.40	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2)	性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)
男女合計 北 上京 左京 中東山 山下京 南 右京	インファルル エンナザ (※** 1) 0.14 0.20 2.86 1.00 1.00 0.33 0.40 1.13	R S ウ イルス 感染症 - - - - - - - - - 0.33	- Ungi	次群溶血性レンサ球菌咽 - 1.25 0.67 0.50 - 1.67 4.40	腸炎 0.25 0.67 1.25 1.00 2.50 0.20 - 4.00 1.00	痘 - - 0.25 - - 0.20 - -	口病	· - - 0.25 - - - -	性発しん 0.50 0.33 - 1.00 - 0.33 0.60	ルパンギーナ	行性耳下腺炎 - - - - 0.40	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2)	性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)
男女合計 北 上京 左京 中東山 山下京 南 右京 伏見	インファルル エンンザ (** 1 1 2 1 2 2 8 6 1 1 0 0 1 1 0 0 0 3 3 0 4 4 0 1 1 1 3 1 1 9 1	R S ウイルス 感染症 - - - - - - - - - - - - - 0.33 0.60	- Unit	次群 溶血性 レンサ 球菌 咽 - 1.25 0.67 0.50 0.60 - 1.67 4.40 1.71	腸炎 0.25 0.67 1.25 1.00 2.50 0.20 - 4.00 1.00 4.14	痘 - - 0.25 - - 0.20 - - 0.20 0.20	口病	染性 紅斑 - - 0.25 - - - - - - - - 0.14	性発しん - - 0.50 0.33 - 1.00 - 0.33 0.60 0.86	ルパンギーナ - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	行性耳下腺炎 - - - - - - - - - -	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2)	性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)
男女合計 北 上京 左京 中東山 山下京 南 右京	インファルル エンナザ (※** 1) 0.14 0.20 2.86 1.00 1.00 0.33 0.40 1.13	R S ウ イルス 感染症 - - - - - - - - - 0.33	- Ungi	次群溶血性レンサ球菌咽 - 1.25 0.67 0.50 - 1.67 4.40	腸炎 0.25 0.67 1.25 1.00 2.50 0.20 - 4.00 1.00	痘 - - 0.25 - - 0.20 - -	口病	· - - 0.25 - - - -	性発しん 0.50 0.33 - 1.00 - 0.33 0.60	ルパンギーナ	行性耳下腺炎 - - - - 0.40	血性結膜炎	行性角結膜炎	性髄膜炎 (※2)	性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)

^{※1} インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/HIN1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラジンド肺炎はオウム病を除く。

^{※4} 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第12週

年齢階級,疾病別報告数

2019年3月16日~2019年3月22日

データ入手日:2020年3月25日

京都市	年齢1	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	ł
	年齢3	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						ł
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				ł
インフルエンザ (※1)	年齢1	73	1	1	3	4	2	6	13	15	8	5	1	2	-	6	2	1	-	-	2	1
RSウイルス感染症		5	1	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						1
咽頭結膜熱		9	-	1	3	1	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-						1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		50	-	-	4	7	4	7	6	8	3	-	1	5	-	5						ł
感染性胃腸炎		76	-	7	6	8	6	7	5	6	1	3	6	10	1	10						1
水 痘	年齢3	6	-	1	_	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	1						ł
手 足 口 病	十四つ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						1
伝染性紅斑		3	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-						ł
突発性発しん		18	-	7	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						1
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	1	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-						ł
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-						ł
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎	平断2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	ł
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				1
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					l
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				1
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				1
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

年齢階級,疾病別定点当り報告数

1 mprenx, ////////////////////////////////////		4 10 10 10		1																		
京都市	年齢1	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	i
	年齢3	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						I
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				I
インフルエンザ (※1)	年齢1	1.06	0.01	0.01	0.04	0.06	0.03	0.09	0.19	0.22	0.12	0.07	0.01	0.03	-	0.09	0.03	0.01	-	-	0.03	0.01
RSウイルス感染症		0.12	0.02	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭 結膜 熱		0.21	-	0.02	0.07	0.02	0.02	1	0.02	0.05	-	-	-	-	1	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.16	-		0.09	0.16	0.09	0.16	0.14	0.19	0.07	-	0.02	0.12	-	0.12						
感染性胃腸炎		1.77	-	0.16	0.14	0.19	0.14	0.16	0.12	0.14	0.02	0.07	0.14	0.23	0.02	0.23						1
水痘	年齢3	0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02						1
手足口病	平断3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		0.07	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.42	-	0.16	0.23	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						1
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	平断2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-				

^{※1} インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/HIN1については含む。

^{※2} 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

^{※3} クラミジア肺炎はオウム病を除く。

^{※4} 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

T3203

集計対象:2020年第12週

週,疾病別報告数

データ入手日:2020年3月25日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
	3週刊	4週刊	3週刊	乙週刊	1週刊	ク週
インフルエンザ (※1)	628	439	364	337	155	73
RSウイルス感染症	6	4	7	3	5	5
咽頭結膜熱	6	3	5	6	4	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	91	83	92	74	66	50
感染性胃腸炎	182	159	123	116	72	76
水 痘	12	5	19	5	9	6
手 足 口 病	3	1	2	4	3	_
伝 染 性 紅 斑	4	6	7	5	10	3
突発性発しん	11	5	9	10	12	18
ヘルパンギーナ	_	-	-	1	-	1
流行性耳下腺炎	_	2	1	1	-	2
急性出血性結膜炎	_	1	1	1	-	-
流行性角結膜炎	_	1	1	1	1	_
細菌性髄膜炎 (※2)	_	-	-	1	-	_
無菌性髄膜炎	_	-	-	1	-	_
マイコプラズマ肺炎	_	1	_	_	_	_
クラミジア肺炎 (※3)	_	_	_	-	_	_
感染性胃腸炎 (※4)		_	_	_	_	_
合 計	943	709	628	561	337	243

週,疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ	(※1)	9.10	6.36	5.28	4.88	2.25	1.06
RSウイルス感染	症	0.14	0.09	0.16	0.07	0.12	0.12
咽頭結膜熱		0.14	0.07	0.12	0.14	0.09	0.21
A群溶血性レン	サ球菌咽頭炎	2.12	1.93	2.14	1.72	1.53	1.16
感染性胃腸炎		4.23	3.70	2.86	2.70	1.67	1.77
水痘		0.28	0.12	0.44	0.12	0.21	0.14
手 足 口 病		0.07	0.02	0.05	0.09	0.07	_
伝染性紅斑		0.09	0.14	0.16	0.12	0.23	0.07
突発性発しん		0.26	0.12	0.21	0.23	0.28	0.42
ヘルパンギーナ		_	1	-	_	-	0.02
流行性耳下腺炎	\{	_	0.05	ı	0.02	-	0.05
急性出血性結膜	莫灸	_	1	-	-	-	_
流行性角結膜炎	\{	_	0.10	-	1	0.10	_
細菌性髄膜炎	(**2)	_	-	_	-	-	_
無菌性髄膜炎		_	-	_	-	-	_
マイコプラズマ脈		_	1.00	_	_	_	_
クラミジア肺炎((**3)	_	_	_	_	_	_
感染性胃腸炎	(*4)	_	_	_	_	_	_
合 計		16.43	13.69	11.41	10.09	6.56	5.01

^{※1} インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/HINIについては含む。

^{※2} 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

^{※3} クラミジア肺炎はオウム病を除く。

^{※4} 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。